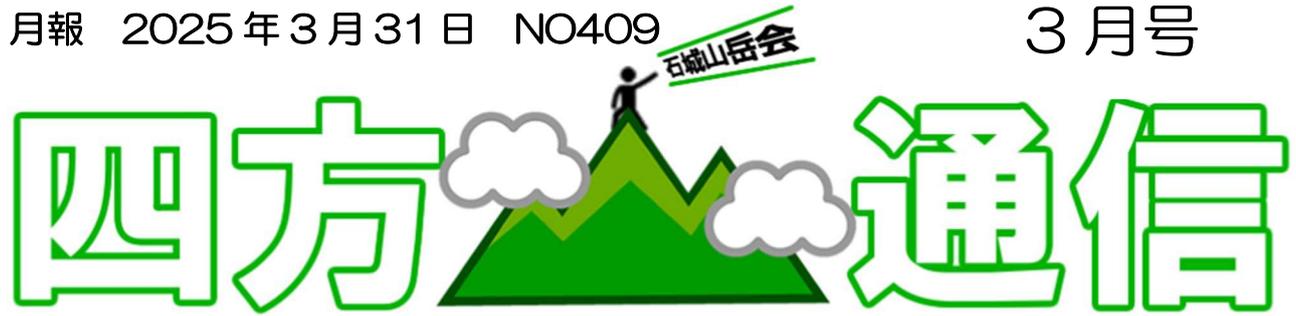


月報 2025年3月31日 NO409

3月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

山行報告 高曽根山

3月山行 「観音山」

山行報告 高曽根山

2025年3月22日(土)

スキー秋葉・安部、スノーシュー山縣・種市

高曽根山は登山道がなく積雪期にしか登れない「知る人ぞ知る人気の山」です。一般的に蘭峠からのコースが紹介されています。その他のコースも行ってみたいけれど、このコースが一番お薦めです。

漁業協同組合の倉庫の前に車を止めて道路を進む。広々とした開墾地に入り作業道を進む。885m付近から左側に入ると開墾地が終わり樹林帯になります。

注意点は920m付近で沢を渡ります。雪が多いときは問題ありませんが、雪が少なく沢を渡るのが難しいときは稜線に出ても藪が出て煩わしくなるので戻った方が良いでしょう。

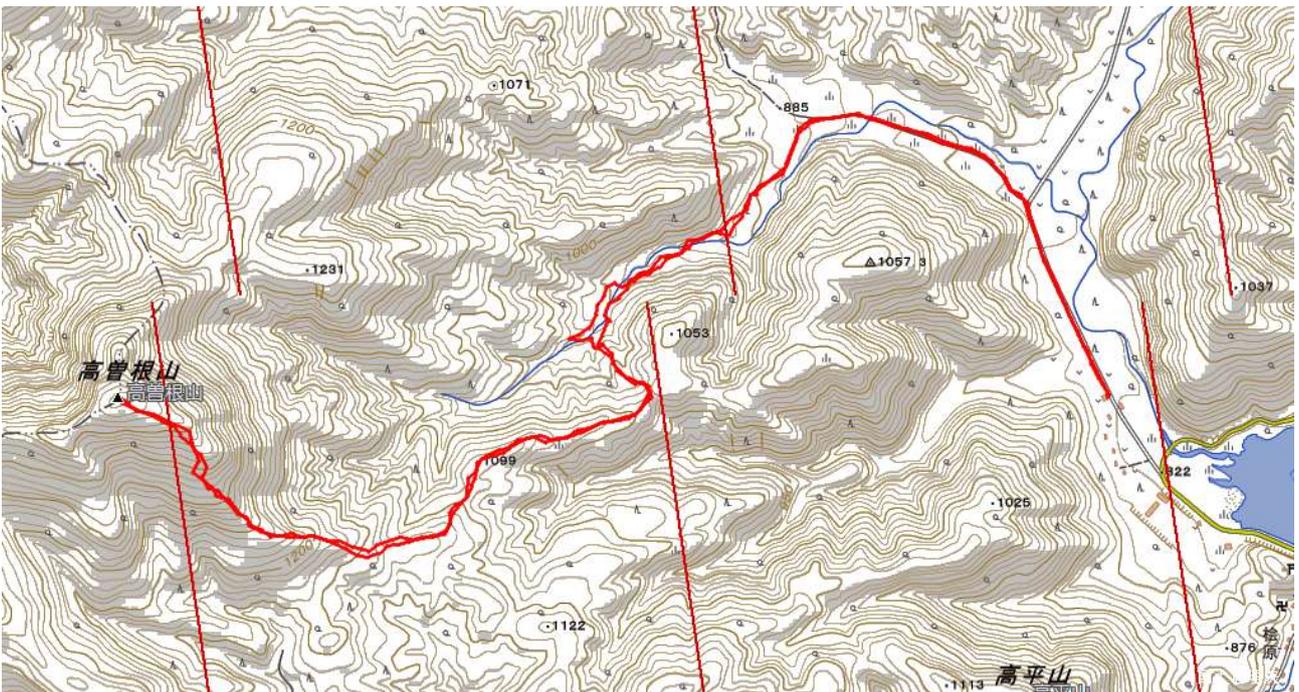
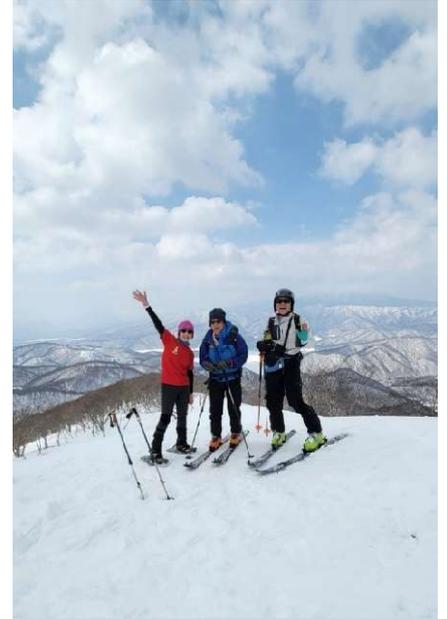
1,053mの南側のコルをめがけて登り、それ以降はブナ帯の稜線を忠実に辿れば頂上に着きます。

頂上は飯豊、吾妻、磐梯の絶好の展望台です。

山縣さんの準備してくれた鍋とホットワインを味わいながら十分に展望を楽しんだ後、思い思いに下りました。

コースタイム：登り3時間、休憩1時間、
下り2時間20分

(文責：秋葉)



3月山行 「観音山」

2025年3月25日(火)

参加者 秋葉、渡邊、松本

下郷町の観音山へ山スキーで登ってきました。

積雪期限定で歩ける山なので登山道はありません。観音沼森林公園の駐車場を過ぎて100mほど進んだ所にある第一配水池辺りから登り出しとなります。



風も穏やか、スキーで登り始めたらすぐ汗ばむくらい晴れて気持ちの良い天気でした。

最初は緩い登りを1,312m峰を巻くように進み、1,426m峰の尾根に向かって登っていくと徐々に傾斜がきつくなっていきます。

今年は積雪が多かったので十分な雪が残っていると思っていたところ、笹や土があちらこちらで顔を出し始めました。このままスキーで登るのは無理と判断し板を外しての登攀

となりました。板を手に持ちスキーブーツで登るのは大変でした。

山スキーの大先輩達はものともせずに登っていきませんが、私は笹と雪の傾斜に四苦八苦でした。

30m程登ると雪の上を歩けるようになり、1,426m峰から観音山山頂まではスキーを履いたまま登頂することが出来ました。観音山山頂は周りに遮るものも無く、正面には甲子旭岳(赤崩山)、南には大小連なる那須の山々が見えます。とても良い眺めでした。穏やかな天候だったのでゆっくりと山頂で昼食をとり景色を堪能してから下山開始。



1,426m峰からは笹が出ていた尾根ではなく西側の斜面を滑りました。スキーだとあっと言う間の下山となりました。

初めて登った観音山。山頂からの展望は素晴らしく、次回は目の前に見えていた甲子旭岳まで繋げて歩いてみたいと思いました。

【コースタイム】

観音沼森林公園 9:20 → 観音山 11:50~12:49
→ 観音沼森林公園 13:54

[休憩時間] 1時間3分

[行動時間] 4時間33分

(文責: 松本)